

海ごみを題材にした大人のための総合的な環境教育

活動掲載ホームページのページビュー数 1,128 ビュー

多摩川沿岸の調査地点数 13 地点

活動の全体目標に対する達成度 75%



研修会の目的、注意点などを説明

◆成果と工夫したポイント

●成果

講座の参加者数は目標に満たなかったが、そのため、参加者間の情報共有はアイデアを含み相当量図られ、参加者がそれぞれの地域活動にフィードバックできる多くの情報を持ち帰った。

●工夫

特にマイクロプラスチックの問題、課題について講座、検討会等での参加者間の情報共有を促し、配慮した。

課題

海ごみの多くを占めるプラスチックごみの発生抑制に向けて、普及啓発、環境教育などの活動促進は不可欠であり、そのための資料、プログラム等の検討、作成を目指す。

目標

- 研修会参加者数の目標:クリーンアップ活動等の経験者等を対象に 30 名程度を想定する。
- 周知促進のための工夫:マイクロプラスチックの環境への影響等の情報共有を図り、普及啓発に向けての資料作成を目指す。

活動内容

- 多摩川ごみ調査の実施:多摩川沿岸及び河口周辺における漂着ごみ状況調査を全 16 地点で実施。
- 「大人のための海ごみ講座～海ごみプラごみ研修会～」の開催:各地の活動者を対象に、問題解決に向けて現場で使いやすい資料等を検討する講演、ワークショップを実施
- 「海洋ごみ問題の普及啓発のための検討会」の開催:さらに普及啓発を進めるため検討を進め、写真パネルの作成に向けて検討。
*検討の結果、A3 写真パネルを作成。



都が毎日運行している清掃船を見学

達成できなかったこと

当初想定していた研修会の参加者数を満たすことができなかった。告知の期間を十分に確保できなかったことが原因であり、事前準備の重要性を確認することとなった。

今後の展望

作成した A3 写真パネルの積極的、継続的な貸与、活用によって、各地での普及啓発に寄与していきたい。